

# 市政を問う 一般質問

## 一般質問とは

議員が市政全般にわたり、市長や教育長などに質問をし、考え方をたずねることをいいます。適正な行政運営を行う上で、その役割は重要です。ここでは、24人の議員からの質問のうち、1人3件までその要旨を掲載しました。

## 行政一般

### コミュニティバスを西部地域に運行できないか

立花隆一議員(公ク) 試行運行ルート決定の要件は何か。また試行運行ルートの問題点は何か。

西部地域にコミュニティバスを走らせることはできないか。試行運行ルートから外れた鷹の台駅へのアクセスの問題点と、条件整備のための計画は何か。

試行運行期間を5年間とした理由は、短縮はできないか。試行運行期間中に、西部地域を走る都バスと西武バスの路線バス増発等を要望できないか。

市長 要件は既存バス路線と競合しないこと等で、問題点は一方通行が多く往路と復路でルートが異なること等である。現時点では考えていない。問題点は交差点の渋滞とたかの台駅通りの一方通行で、地権者と交渉を継続していきたい。総合的観点から判断したもので、期間短縮は考えていない。採算面から困難と聞いていますが、引き続き要望したい。

### コミュニティバス事業計画の今後の展開を問う

齋藤 敦議員(フオ) バス試行運行の実施計画案では運行開始4年後に政策評価を行うとしているが、その時期の根拠は何か。研究会では、試行運行ルートについて原案と意見が異なる発言が出ていたが、原案の修正は考えているのか。

今回の試行ルート案を作成するに当たり、どんな事例を参考にしたのか。

用年数や費用対効果についての評価を行う時期も含め、総合的な観点から判断したい。

研究会において、ルート延長の意見等があったが、このルートをもとに、さらに調査を進めることで承認を得たい。

他市の例も参考にはしたが小平市の特性に合ったコミュニティバスの運行を目指していきたいと考えており、小平市全域について総合的な検討を行う中で試行運行ルート案は作成した。

### 大沼地域の公共交通網及び市内循環バス計画

原 邦彦議員(公ク) 都営大沼町二丁目アパートは800世帯を超える世帯数で、住宅内には高齢者世帯が多く、シルバー住宅や障害者用住宅もある。近くに商店がないこともあり、買い物や病院へ通うためのバス路線を求める声が増えている。コミュニティバスの検討の中で、こうした声はどう生かされたのか。

試行運行の期間に、地域の見直し、運行路線の延長や改善等を行うのか。

東京街道から新小金井街道に向かうバス路線について、都営大沼町二丁目アパート内に注



都営大沼町二丁目アパート

回延長することを、バス事業者に求めてほしいがどうか。

市長 要望の多い路線で、コミュニティバスの運行とは別に検討を進めることとしており、課題の一つと認識している。事業の効率性等から運行路線の延長は考えていないが、毎年評価を行い、改善を加えるなど、多くの市民に利用してもらえよう取り組んでいきたい。

バス事業者から、ダイヤ等の変更に伴う経費負担や採算等の関係から困難と聞いているが引き続き要望していきたい。

### NPOや市民事業を育てるために

苗村洋子議員(緑ネ) 今年度からNPOの団体交流を実施しているが、NPOが抱えている共通の課題はどのようなものがあるかと聞いている。NPO支援では何が必要と聞いている。

NPOを育てるという観点から、市から事業を委託するなど、積極的な取り組みが必要かと思うがどうか。

市長 また、共通の課題を持つという段階には至っていません。緩やかな協力関係ができつつあるという状況である。

情報提供等が必要と考えており、情報連絡会の開催や情報紙の発行等を実施している。適切な取り組みを行っていることが必要と考えている。

「野」原親子広場を市役所南側市民広場に

親子公園「野」原親子広場としてどうか。また、仮につく場合、必要な予算と日数は、特色ある小規模公園をつくる発想はないか。

市長 市民広場はイベント時の臨時自転車駐車場等に活用し、ふだんは市民に開放しているが、同広場が都市計画道路予定地であることを考慮しつつ、現状の利用の中でどのような活用が可能か、費用等を含め研究したい。当分は庁舎の敷地として管理していきたい。



市役所南側市民広場

### 住民参加条例を制定し市民参加を進めるために

木村まゆみ議員(共産) 「市政の主人公は市民」と胸を張って言えるような市民参加の第一歩として、いわゆる住民参加条例を制定すべきと考えるが、計画や検討する心づもりはあるか。必要と思うか。

多摩26市でも制定した市がふえているが、認識は。市長 市で定めた指針に基づき市民参加の機会拡大を図っており、条例制定の考えはない。

市民参加の推進に、条例化が必要かとは考えていない。他市の状況にも常に關心は寄せているが、小平市の市民参加が進んでいないとは考えておらず、今後ともより適切な市民参加の手法を検討し、進めていきたい。

地価下落に伴う固定資産の評価と税をめぐるとの考え方はどうか。

高橋 勇議員(フオ) 土地の評価や課税に対する見解は、3年に一度の固定資産評価で、時価が適切に反映されるか。市財政も厳しいため、固定資産税は下げにくいのか。

土地固定資産税を何年払うと、土地の価格に相当するか。土地にかかわる税金を再考すべきと思うがどうか。

### 区並みの固定資産税の減免・軽減措置をとれないか。

登録免許税の現状や不動産取得税軽減等の検討への認識は。土地にかかわる多くの税目はわかりにくいと思うが認識は。市長 適切な負担調整措置を講じていると認識している。平成9年度から毎年、価格の見直しを図っている。土地固定資産税は平成12年度から減収となっている。相当の年数を要する。国レベルで検討すべき事項と考える。

財政状況から、困難である。国・都の税目であり、市として述べることは適当でない。納税者への周知に努めたい。

### 市長等の退職金支給基準の見直しを

島村幸子議員(共産) 市長は経費削減に積極的な政治姿勢で臨んできたが、市長等特別職の退職金支給制度を見直し、他に補てんするなどの対策は考えられないか。支給制度の根拠は。退職金支給の具体的な数値は。他の自治体の状況は。青年の希望を掴み取るような制度は即刻改めるべきだが、どうか。

市長 制度は市長等の給料等に関する条例が根拠となっており、人件費と政策関連費は性質を異にする問題と考えており、

人件費を削減して政策予算に充てることは考えていない。現在の任期を満了した場合で計算すると、市長の場合では千890万円となる。

### 高校生の就職

真鍋貞樹議員(フオ) 現在の不況で高校生の就職は氷河期と言われており、市として何ができるかを考える必要がある。小平市の高校生の就職状況はどうか。

### 高校・企業・厚生労働省・各自治体の連携はどうか。

市役所で、高校卒業生をインターンとして一定期間研修を兼ねた雇用をできないか。市長 特に把握していないが、就職希望の生徒のほぼ全員が職を得ていると考えている。文部科学省、厚生労働省を中心に取り組んでいると聞いており、市としては今後関係機関からの要請があれば協力等を検討していきたい。

### 保育士応募資格の21歳以下は改めるべき

木村まゆみ議員(共産) 市の保育士の応募は21歳以下という厳しい制限があり、合理性のない極端な年齢差別である。この年齢制限が決められた経緯と根拠は。他の自治体の状況は。青年の希望を掴み取るような制度は即刻改めるべきだが、どうか。

市長 応募者数が多いため、昭和60年度より24歳から21歳に変更した。年齢等条件は、採用における需要と供給のバランス

を考慮し募集要項で定めている。多摩地域では24歳までが8市、23歳までが4市等である。保育士採用の応募状況等を勘案し、適切な年齢設定について今後も十分検討していきたい。

### 子どもの権利救済

石川 紀議員(緑ネ) 子どもその権利が侵害されている実態について、ここ数年の動向は。その実態をどうとらえているか。権利侵害を救済するための制度や仕組み、市の取り組みはどうなっているか。

### 救済制度や仕組みは本来どうあるべきかと聞いているか。

市として、新たな取り組みが必要かと思うがどうか。市長 虐待については年々増大しており、憂慮している。国では子どもの人権専門委員が、都では子どもの権利擁護委員会や児童相談所等が相談等を実施している。市でも各学校のスクールカウンセラーのほか新たな相談事業を開始した。各機関のネットワークの構築が重要と考えており、市として、都の子どもの権利擁護委員会との協力を考えている。

### 公立昭和病院 東西病棟等改築計画

小川善一議員(市民) 計画の新改築費の設定単価は高過ぎる。昭和病院組合に再検討を要請すべきだが、推移はどうか。公立病院のみでなく民間病院の新改築費も調査し比較検討すべきだが、組合からどう聞いているか。

改築費の概算額は1平方メートル当たり幾らと聞いているか。医療機器関係と新改築部分を区分した積算額を示すべきと



公立昭和病院西病棟

### 戸籍届け出時の虚偽申請防止

関根 玲議員(フオ) ストーカーなどが社会問題化する中、本人が知らない間に婚姻届が出されるなどの事件が各地で起きている。小平市でこうした事件が発生したケースはあるか。戸籍届け出の際、それが正当であることの確認をどのようにしているのか。虚偽届け出を防止する市役所の体制はどうなっているか。

市長 発生していない。届け出書の記載内容、署名、捺印等を慎重に審査した上で受理している。記載等に不備や疑問が認められる場合は、身分を証明できるものの提示をお願いすることもある。なお、戸籍の審査は複雑なため、戸籍事務に精通した職員を育てるための指導・研修も心がけている。